



翔洋通信

翔洋学園高等学校 学校だより

令和8年5月7日発行 第3号

広域通信制高校だからこそその学びに挑戦してみよう！

新緑が美しい季節になりました。第1回のホームルームを経てレポート学習も始まり、自分のペースでの学びが順調にスタートできたことと思います。

ところで、皆さんは、どれくらい翔洋学園高校について知っているでしょうか？もちろん、皆さんの学びのホームグラウンドは、所属する各キャンパスです。でも、せっかく広域通信制という仕組みをもつ翔洋学園で学んでいくのですから、もっともっと学校全体のこと、地域は違っても同じ翔洋学園の高校生として学ぶ仲間がたくさんいることを知ることができたら、学びの視点が広がるかもしれません。

創立は平成12年（2000年）。今年で開校27年目を迎えました。昨年度末で、卒業生が2万人を超えました。（皆さんには、翔洋学園を巣立った2万人の先輩がいるのです！）

翔洋学園には、地域の特色を生かしながらも基本的には共通の教育活動を行っている日立本校（茨城県日立市）と各地の10キャンパス（【茨城県】水戸キャンパス・土浦キャンパス・古河キャンパス・下館キャンパス【千葉県】千葉キャンパス・柏キャンパス・ネットキャンパス【福島県】いわきキャンパス・会津キャンパス【山形県】山形キャンパス）があります。また、教育課程は共通ですが、より特色ある教育活動を連携して行っているサポート校が茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、福島県、新潟県、埼玉県、長野県、岡山県、群馬県に31か所あります。

広域通信制ですから、対面で学ぶ機会は限られますし、他キャンパスやサポート校の仲間と一っしょに学ぶ機会は希少です。しかし、せっかくこれだけのエリアに同じ「翔洋生」が学んでいるのですから、そのメリットを生かしたいと思っています。

対象は直営キャンパスに限定されますが、例えば、修学旅行。（今年の目的地は沖縄。10月に予定。近々、参加募集案内が届きます。）それぞれのキャンパスから生徒が参加し、旅行当日はもちろんのこと、事前学習や事後学習でも、オンラインでつないで交流します。学年は問いませんので、卒業までに3回参加することも可能です。

双方向オンライン授業（今のところはこちらも直営キャンパス限定にはなりますが）。キャンパスは違っても同じ科目を履修する生徒をオンラインでつないで、一っしょに学びます。通信制ですから個人の自学自習が基本ですが、こういった学び方で「協働的な学び」を経験することができます。科目は限定的ですが、5月25日から6回ほど計画されています。難しく考えずに、「他キャンパスにはどんな「翔洋生」がいるのかな？」くらいの興味があれば参加してみることをお勧めします。

近隣キャンパス同士で一っしょに学ぶ機会もあります。ここ数年、福島県の会津キャンパスといわきキャンパスは合同で「震災復興学習」を行っています。福島エリアで学ぶ生徒にとっては東日本大震災を語り継ぐための大切な学びの機会となっています。

また、地域によっては、サポート校の生徒が直営キャンパスのスクーリングに参加することもあります。

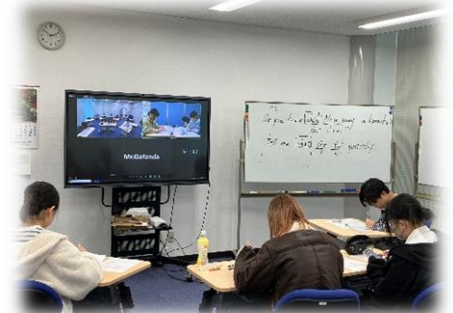
今後は、サポート校も含めて、地域性を生かしたりつなげたりしながら、広域通信制高校ならではの特色ある教育活動づくりに一っそう力を入れていきたいと思っています。

生徒の皆さんは、学校からの様々な案内情報にアンテナを高くして、自分の学びを広げる機会があれば、ぜひ積極的にチャレンジしてみてください！

…つづく



R7 修学旅行：大阪万博で



双方向オンラインで学ぶ



会津・いわき合同で震災復興学習